

## 第 17 回桑名市地域自立支援協議会

日時：令和元年 11 月 5 日（火） 14:00～

場所：くわなメディアライヴ 2 階第一会議室

### 1 開会

### 2 議事

#### （1）障害者計画等の進捗状況について

委員：前回（平成 29 年度進捗状況報告時）の資料と比較すると、項目が少なくなっている。また前回言った意見が反映されているのかどうか、その意見を踏まえての報告になっているのか。

事務局：項目については、全て報告となると資料も膨大になるため、毎年継続している事業で大きく変化のない事業については省略した。今年 3 月の自立支援協議会においては、平成 29 年度中の進捗状況の報告を行ったが、今回は平成 30 年度中の進捗状況報告であり、いただいた意見が反映できているかといえはできていないところもあると思う。いただいた意見については今年度できることはないか精査している。

委員：障害についての理解を図る教育の促進についてとあるが、障害には 3 種類（身体、知的、精神）あるが、身体障害が主になっており、知的障害や精神障害に対する理解を深めるための取り組みはしているか。

市職員の障害者雇用について、雇用率 2.55%となり法定雇用率を上回っているとのことだが、身体障害者を中心に雇用が進み、精神障害者の雇用は進んでいないのではないか。今後の考えは。

物品等の優先調達の実施について、市役所内各課に周知しましたとあるが、市役所を訪れた際にいつも感じるのは、窓口担当の職員まで周知されていないのではないかと感じる人が多い。私は A 型事業所にいますが、障害者の方へ支払う賃金も増やしていかなければという思いはありますが、一般企業のようにはいかないので、公共機関の理解をいただきたいと思う。

コミュニティバスの維持・確保について、コミュニティバスは市内を循環するため利用しづらいという話をよく聞く。また最近では高齢者の事故が増え、運転免許を返納する人もいるが、障害のある方の運賃半額制度を、高齢者にも適用されるように考えていただきたい。

事務局：教育については、すべての障害について理解を深めていただけるよう教育委員会に働きかけていく。

障害者雇用については、身体障害者が中心となっているのが現状であるとのことなので、人事課と改めて協議し、検討してもらうように働きかける。

優先調達については、市内の事業所からも話があり、市と事業者がより良い形でマッチングできるよう努める。また市庁舎内でも意志疎通を図っていくよう努める。

コミュニティバスについては、ルートやバス停の位置等要望がいろいろあるようで、すべて納得がいく形にするのは非常に難しいが、このご意見を都市管理課へ伝える。

委員：障害についての理解を図る教育の推進について、確かに精神障害者への理解は以前よりも深まってきていると思うが、この事業は年間20～30人以内を対象に行っていて、より理解を深めるという点では不十分だと思っている。小学生、中学生、また高校生等の若い世代の理解を深めるのであれば、実際に障害がある方達とのふれあいや話を聞くという形が大事だと思う。私も精神障害に関わる者として、いろいろなところでお話しをさせていただく機会がありますが、学校によっては道徳の一環として知的障害者の方が通う事業者のお話を聞く機会があると聞いた。こういう例もあるので、大人も含め若い世代、子どものうちからいろいろな障害の方についてまず知ってもらえるような取り組みをしていただけたらありがたい。

委員：公共施設等のバリアフリー化の推進について、桑名駅の改築等新しい施設が造られているが、障害をもつ当事者の意見を聞きとって進めているのか。せっかく新しいものを造っても、使いにくいではもったいないと思う。

市職員の障害者雇用について、令和元年度の実施計画で、「法定雇用率を下回らないよう採用を実施する」とあるが、目標が低いと思う。もっと積極的に採用すると言っていたきたい。

事務局：駅周辺整備事業については、現時点での聞き取り状況は把握していないが、今後、駅周辺を含めさらに整備をしていくと聞いており、その過程で障害者の方を含め色々な方の意見を聞く必要があると思うので、担当部署に働きかけていく。

委員：市民病院を建てるときも私達の団体の意見を聞く場を設けていただくよう要望したが、意見を言う場がなかった。できあがって行ってみたら、使いにくいところが多々あったので、意見を聞いて欲しいと思った。今回の自由通路や駅周辺もみんなが使いやすいようにいいものにしていただきたいのでお願いしたい。

事務局：人事課の今年度の目標については、いただいた意見を人事課に伝える。

委員：視覚障害者が、家で郵便を見たりアンケートを書いたりすることをヘルパーさんにお願いしたいが、現行制度上できないという声がある。国の制度であれば、市から要望していただきたい。

事務局：制度については、柔軟に対応できるよう県や国へ伝えていけたらと思う。

委員：雇用・就業への支援について、毎年障害者の方を対象に就職面接会を開催しており、今年度からは桑名市、桑名商工会議所、ハローワークとで雇用対策協定を締結し、その事業の一つとして共催で就職面接会を開催した。参加者は昨年度55名であったが、今年度は70名を超える参加があり、非常に盛況であった。実際に採用に繋がる方も昨年度より多くなると見込んでいる。この協定によりいい形で連携し実施できたので、今後もこういう形で実施したい。

委員長：障害者雇用を積極的に推進している企業は業績も良いというデータもあるので、こういった取り組みを続けていくことは重要だと思う。

## (2) 第4期障害者計画にかかるアンケート(案)について

委員：障害者用のアンケートの間7について、「一部介助が必要(助言があればできる)」としてあるが、「手伝いがあればできる」といった表現の方が分かりやすいと思う。

間34の「今後利用したいか」の項目に「利用したくない」となっているが、受けられるサービスは人それぞれで違うので、利用したいか利用したくないかという答え方はできない。表現を工夫してもらいたい。

委員長：このアンケートは、前回との経年による変化も把握したいため、できるだけ前回と同じ項目にして比較できるようになっているが、確かにこの表現ではどれに○を付けたらいいか分かりにくいと思う。前回も同様の表現なのか。

事務局：前回と同じですが、前回のアンケート結果では、「今後利用したいか」について無回答が多かった。その理由はおそらくどう答えていいのかわからなかったと推測できるので、再考する。

委員長：無回答が多くならないようちょっと工夫していただきたい。

委員：(間7について)「助言・お手伝いがあれば」としていただけるとわかりやすい。

委員長：アンケートの対象者数を教えてほしい。

事務局：障害者が3,600名、障害児が400名、一般市民が1,000名、企業が300社を予定している。

委員：今全部を見るのはできないので、いつまで修正などの意見を受け付けてもらえるか。

事務局：12月に発送する予定なので、11月半ばまでにいただければ、アンケート項目の入替などは難しいが、文言修正等は可能だと思う。

委員：障害者のアンケートは3,600名実施するということであるが、桑名市の障害者数は全体で何名いるのか、また児童700名とあるが全体で何名なのか。

事務局：障害者手帳の発行人数では、障害者が6,600~6,700名。障害児は1,050名ほどである。

事務局：アンケートを修正するにあたっては、修正後委員の皆様にもう一度見ていただくのが本来ではあるが、時間も限られるので、事務局で精査後委員長と協議のうえ最終決定としたいがよろしいか。

委員長：事務局と相談し、進めさせていただく。

## (3) その他

事務局：次回の自立支援協議会では、アンケート実施後の速報値を報告する予定である。来年2月頃に開催したいと思っている。

以上